

# 基本的な授業づくり・学習環境づくりに関して

## (1) ノート指導

### ① 基本的な使い方

- ・見開き1～2ページでまとめる。日付を書く。
- ・左端1～2マス分を空け、「問題」「解決方法の見通し（作戦）」「めあて」「自分でチャレンジ（自力解決）」「みんなで考える（集団解決）」「まとめ」「振り返り」「練習問題」を記号で書く。

問 作 ① 自 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

- ・赤チョークで書いたものは赤鉛筆、黄色チョークのものは青鉛筆で書く。低学年は赤鉛筆のみ使用させる。学年が上がるにしたがって色の使い方は各自工夫させるようにする。

【ノートの使い方例】

The image shows a sample notebook page for a math problem. The page is divided into several sections, each with a label in a callout box:

- 問題 (Problem):** Contains the problem statement: "2.5 + 1.8 の筆算のしかたを考えよう。" (Consider the method of calculating 2.5 + 1.8).
- 課題めあて (Lesson Objective):** Contains the objective: "小数の筆算のしかたを考えよう。" (Consider the method of calculating with decimals).
- 見通し (Overview):** Contains a strategy: "0.1 がいくつつ分整数と考えると..." (If we think of it in terms of how many 0.1 units, it becomes an integer...).
- 自分の考え (My Thoughts):** Contains a handwritten explanation of the strategy: "さいしょ、2.5 と 1.8 を整数にして問に筆算でやってみる。..." (First, I'll convert 2.5 and 1.8 to integers and try to solve the problem with long division...).
- 友達の考え (Friend's Thoughts):** Contains a diagram showing the conversion of 2.5 to 25 and 1.8 to 18, and the calculation 25 + 18 = 43, leading to the answer 4.3. It also includes a handwritten note: "友達の考えをメモしている。" (I'm taking notes on my friend's thoughts).
- まとめ振り返り (Summary and Reflection):** Contains a list of steps: "① 位をそろえて書く", "② 整数と同じように計算する。", "③ 上の小数点にそろえて答え小数点をうつ。" (1. Align the digits, 2. Calculate as if they were integers, 3. Align the decimal point in the answer with the one above).

### ② 授業の流れの中で

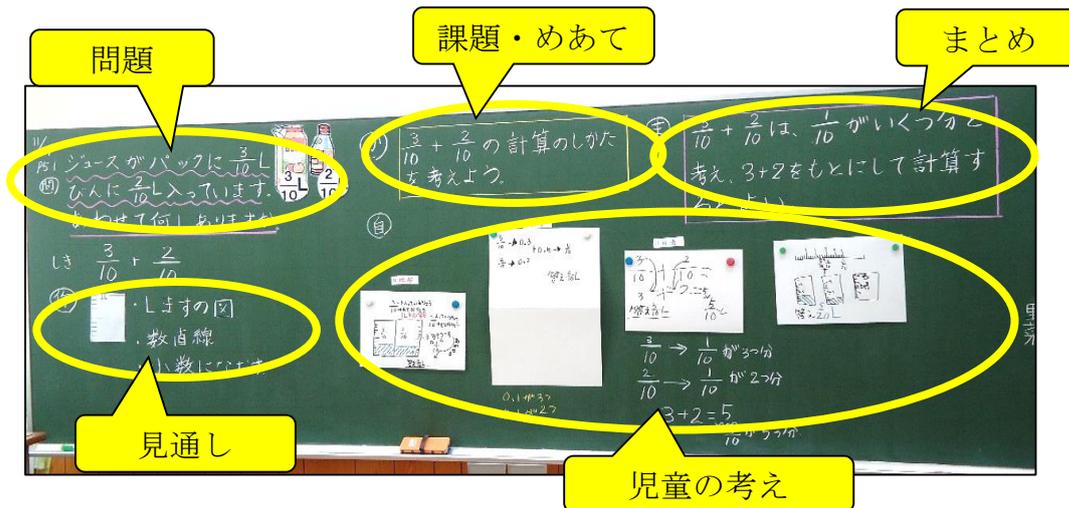
- 自力解決のとき…分からないこと、悩んだことをメモしておく（教師の見取りでも参考ができる）。自分の考えが間違っていたとしても、消したりせず大事な学びとしてノートに残し、吹き出しなどを使ってその理由等を書かせる。
- 集団解決のとき
  - ・大事だと思った友達の考え、工夫点を書かせる。
  - ・自分が考えたこと、気付いたこと、大事だと思ったことを吹き出しなどに書かせる。自分のキャラクターを決めて楽しんで書いている児童もいる。

c) 振り返り

- ・振り返りでは、学習した結果分かったことだけでなく、どのようにして考えていったかという思考の過程も大事にしていきたいと考えている。そのような授業のねらいに合った、教師の意図する振り返りになるように教師が働き掛けて、振り返りを書かせる（視点2手立て③参照）。

(2) 板書

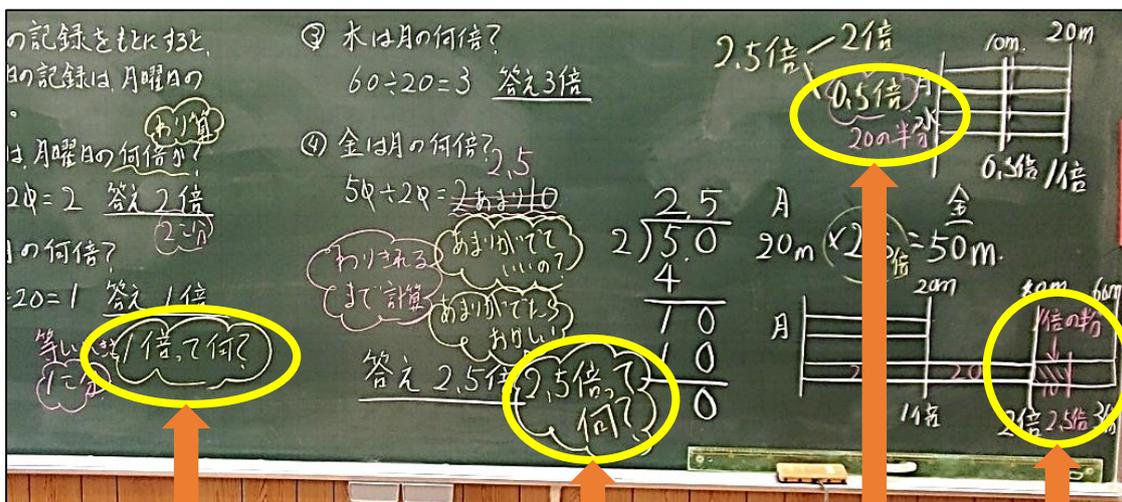
【板書の仕方例】



○めあてだけでなく、そのとき課題になっていることを吹き出しで板書したり、まとめにつながるキーワードを板書したりする。

【4年「小数のわり算」の実践例】

「今、何についてみんなで考えるのか」ということや、小数倍の意味に結び付くキーワードを板書した。



今、みんなで何について考えるのか

小数倍の意味に結び付く  
キーワード

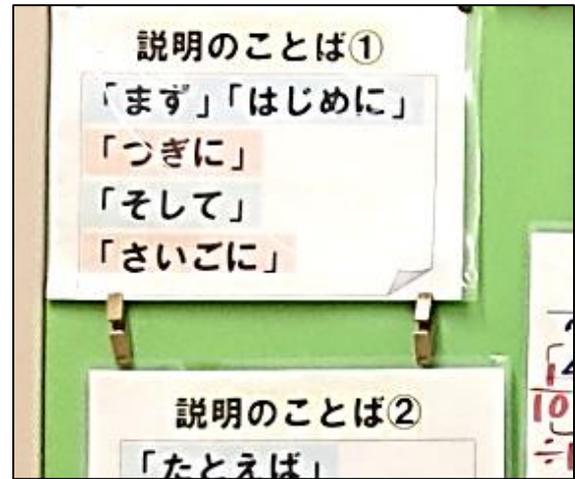
### (3) 算数コーナー

既習の考え方や説明の言葉は常時掲示しておく。また、学習を進める中で新しい考え方や説明の言葉を追加していく。

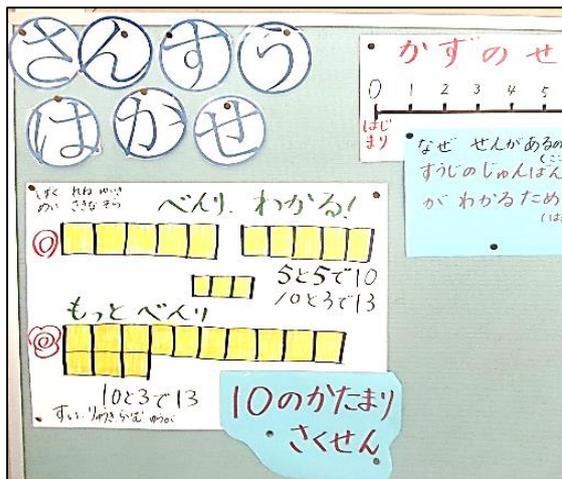
既習の学習内容や児童の考えなどは、単元ごとに内容を変えていく。



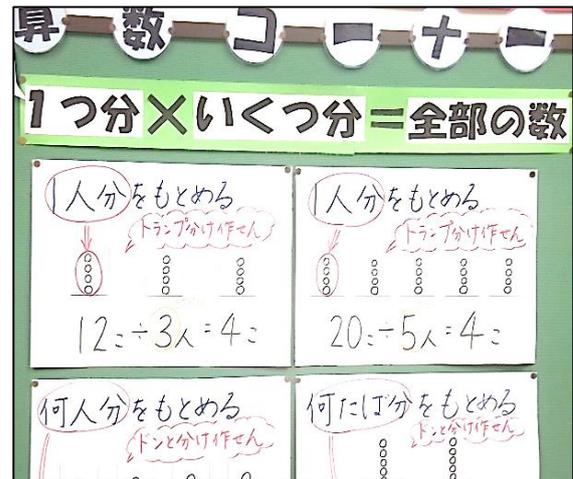
既習の考え方 既習の図



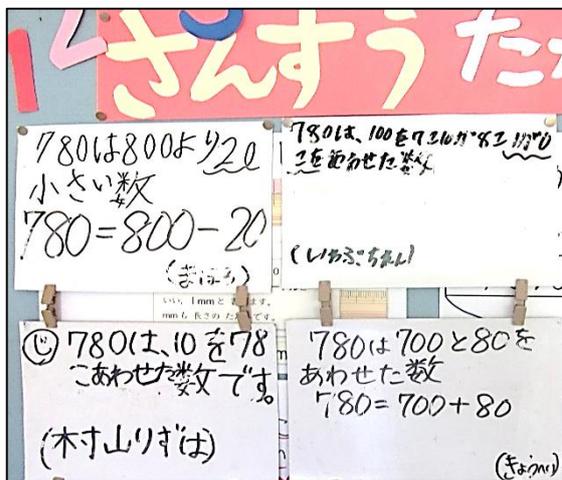
説明の言葉



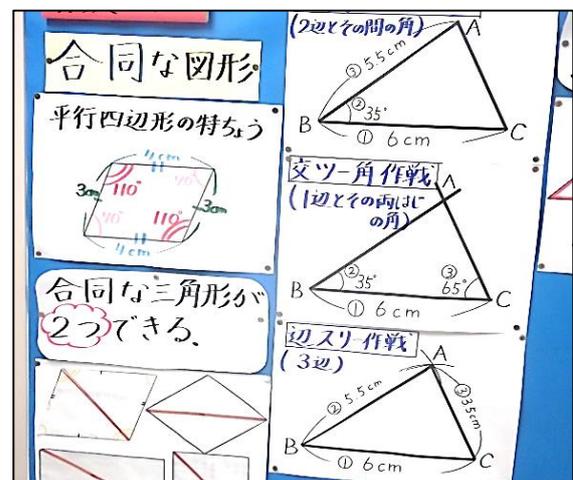
既習の内容 (1年「いくつといくつ」)



既習の内容 (3年「わり算」)



児童の考え (2年「3けたの数」)



児童が考えた作戦名 (5年「合同な図形」)